

平成30年度町政懇話会 議事概要

日 時：平成30年6月19日（火）
19時00分～20時30分
場 所：そうわ会館

出席者：間宮町長、井上副町長、夏苺教育長、矢吹防災安全室長、米山生活環境課長、井上防災安全室
主幹、内藤生活環境課副主幹

事務局：湯川町民課長、清水副課長、皆木主幹、柏木主任主事

参加者数：26人

1 開会

町民課長より開会のあいさつ

2 町長あいさつ

間宮町長よりあいさつ

3 出席者紹介

出席者よりあいさつ

4 テーマ別説明

(1) 土砂災害・洪水ハザードマップについて 防災安全室長より説明

(2) ごみの減量化について 生活環境課長より説明

【質疑・応答】

○ ハザードマップを踏まえ、酒匂川などの堤防のかさ上げなどのハード面の整備計画はあるのか？先日の大阪の地震でブロック塀が倒壊して児童が亡くなったが、町では危険な塀等の調査をしているのか？対策しているのか？

→ 土砂災害対策としては、急傾斜崩壊防止工事を実施している。一昨年前から高尾地区の調査を実施しており、急傾斜崩壊区域の指定を受けて、今後は工事着手となる。また、篠窪地区は工事が完了している。河川の堤防のかさ上げでは、計画規模（工事を実施するかどうか）で想定すると町内での整備予定はないように、河川管理者の県から聞いている。ハード整備とは別になるが、県では河川の掘削を毎年実施している。ブロック塀の調査については、過去においての実施していないと思われるが、今回通学路での事故だったこともあり、町教育委員会から各学校宛に学校周辺の確認の指示をした。過去に環境の面からブロック塀から生垣に変更すると補助金を出していたが、利用者がいなかったのでスクラップした経緯があるが、再検討する必要があるのではないと思う。

- 生垣への対応は再検討を願います。また、職員が該当する家へ出向き説得するようにしたらどうか？
→ ご意見として伺う。

- 100年に1回の雨量と書いてあるが、近年の異常気象は計り知れない。想定雨量を超えた場合のリスクは考えられるのか？
→ 酒匂川の想定しうる最大規模は1000年に1回となり、530ミリである。これを超えることは難しいのではないかと考える。

- 古紙は町への収入になると説明があったが、どのくらいの収入があるのか？収入があるとは思っていなかったのもっと町民にPRした方が良いのではないか。意識改革できるのではないか。
→ 種類によって単価が違い、年によっても変動する。160万円の収入が増額すると思われる。広報等PRしていきたい。

- 町への申請書類（有害鳥獣など）などは、町ホームページに掲載しないのか？
→ 今後、対応できるものは掲載していく。

- 高齢者の運転免許返納者について、相和地区においては公共交通問題や補助・助成などの検討はしないのか？
→ 公共交通については、今年度協議会を設け、協議していきたいと考えている。しかし、利用状況なども調査検討していく。

5 閉会

井上副町長より閉会のあいさつ